



令和6年9月6日(金)発行
校長 栗原 友恵

北九州市小倉北区昭和町16番1号

HP: www.kita9.ed.jp/nakashima-e/

TEL: (093) 921-1690

<学校教育目標>

体・徳・知 調和のとれた心身ともに健康な子どもの育成

<目指す子ども像>

○相手の立場に立って考える思いやりのある子ども

○すすんで学び、自ら考え、表現する子ども

○元気に学び、すすんで運動に取り組む子ども

<目指す学校像>

○安全な学校 ○温かい学校

○笑顔があふれる学校

○「中島小大好き」と言える学校

○成長(学習)し続ける学校

○保護者・地域・関係機関と連携する学校

「平和をつくっていくのは私たち」平和への誓い(全文)

夏休みは、『平和』について考える機会がたくさんありました。被爆79年となる広島「原爆の日」の平和記念式典で、広島市の小学生が「平和への誓い」を読み上げました。以下全文です。

目を閉じて想像してください。

緑豊かで美しいまち。人でにぎわう商店街。まちにあふれるたくさんの笑顔。
79年前の広島には、今と変わらない色鮮やかな日常がありました。

昭和20年(1945年)8月6日 午前8時15分。

「ドーン!」という鼓膜が破れるほどの大きな音。

立ち昇る黒味がかかった朱色の雲。

人も草木も焼かれ、助けを求める声と絶望の涙で、まちは埋め尽くされました。
ある被爆者は言います。あの時の広島は「地獄」だったと。

原子爆弾は、色鮮やかな日常を奪い、広島を灰色の世界へと変えてしまったのです。

被爆者である私の曾祖母は、当時の様子を語ろうとはしませんでした。

言葉にすることさえつらく悲しい記憶は、79年経った今でも多くの被爆者を苦しめ続けています。

今もなお、世界では戦争が続いています。

79年前と同じように、生きたくても生きることができなかった人たち、

明日を共に過ごすはずだった人を失った人たちが、この世界のどこかにいるのです。

本当にこのままでよいのでしょうか。

願うだけでは、平和はおとずれません。

色鮮やかな日常を守り、平和をつくっていくのは私たちです。

一人一人が相手の話をよく聞くこと。

「違い」を「良さ」と捉え、自分の考えを見直すこと。

仲間と協力し、一つのことを成し遂げること。

私たちにもできる平和への一歩です。

さあ、ヒロシマを共に学び、感じましょう。

平和記念資料館を見学し、被爆者の言葉に触れてください。

そして、家族や友達と平和の尊さや命の重みについて語り合しましょう。

世界を変える平和への一歩を今、踏み出します。

令和6年(2024年)8月6日

子ども代表 広島市立祇園小学校 6年 加藤 晶

広島市立八幡東小学校 6年 石丸 優斗

平和学習を行いました!(7月8~18日)

7月は「全市一斉の平和に関する学習指導月間」となっており、中島小学校でも、毎年7月に、平和学習に取り組んでいます。「沖縄慰霊の日」「広島・長崎の原爆の日」「終戦の日」と続く夏のこの時期、各担任が教材を選び、学年の発達段階に応じた平和に関する学習を行っています。

組	学習した内容
1年1組	★「トビウオのぼうやはびょうきです」(DVD) ○アメリカによる水爆実験で死の灰を浴び、たくさんの人が被爆しました。その影響でトビウオのぼうやは不治の病にかかってしまいます。ぼうやの気持ちを考え、手紙を書く活動を通して平和について考えました。
2年1組	★「おこりじぞう」(DVD) ○戦争中、広島に微笑む顔のお地藏さんがありました。1945年8月6日、広島は焼け野原に。笑顔のお地藏さんの顔が仁王の顔に変わり・・・戦争や原爆の恐ろしさ悲惨さを知り、平和についての考えを深めました。
3年1組	★「さようならカバくん」(DVD) ○戦争中、水やエサを与えられずに息を引き取った上野動物園のカバの思いを考えました。最後に、戦争があった頃の様子について感じたことや、これからの自分の気持ちなど、心に残ったことを書きました。
4年1組	★「瞳の中の子どもたち」(デジタル紙芝居) ○戦争中、国民学校で教員をしていた女性の体験談をもとにした話を通し、原爆により一瞬で多くの命が失われたこと、その一人一人にかけがえのない人生があったことを知る中で、命の尊さ、平和の大切さについて考えました。
5年1組	★「いわたくんちのおばあちゃん」(DVD) ○いわたくんの「おばあちゃん」は、なぜ写真を撮られるのが嫌いなんだろう・・・『戦争なんてずっとむかしの話』なんて思わないでほしい・・・戦争を二度と起こさないために、自分たちが今できることを考えました。
6年1組	★「おきなわ島のこえ」(絵本) ○日本で唯一の地上戦となった沖縄戦で、沖縄の人たちは3人に1人が命を失いました。戦争への怒りと、鎮魂と平和への願いをこめたこの絵本を通して、平和について考えました。
ふじ組 すずかけ組	★「トビウオのぼうやはびょうきです」(動画) ○アメリカによる水爆実験で死の灰を浴び、たくさんの人が被爆しました。その影響でトビウオのぼうやは不治の病にかかってしまいます。ぼうやの気持ちを考え、今自分たちにできることは何かを考えました。

